

○“建設技術フェア2017in中部”の場において、建設ICT導入普及研究会員等が「建設ICTの導入の効果や課題、品質向上や創意工夫事例、最新の建設ICT技術」について発表を行う「建設ICT推進セミナー」が初めて開催されました。

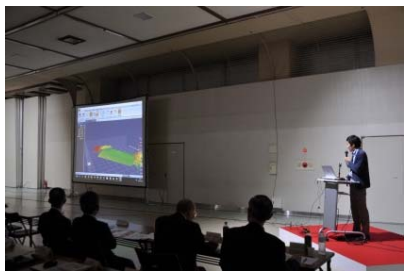
○発表では自動追尾型トランシットによる実演や九州北部豪雨におけるUAVを活用した流木調査についての報告もあり、聴講者は熱心に聞き入るとともに、コメンテーターから貴重なご講評をいただき、更なる建設ICTの推進・普及に向けての提案や情報共有を行うことができました。

概要

- 日 時：平成29年10月19日（木） 13:00～15:00
- 開催場所：吹上ホール（名古屋市中小企業振興会館）講演会場
- 主催：中部地方整備局・名古屋国際見本市委員会
- 協力：建設ICT導入普及研究会
- 聴講者：約200名
- 題名と発表者：
 - 1) UAVによる3Dレーザー測量 & 自動画像処理サービスについて
【テラドローン(株) 土木事業部長 河越 賛】
 - 2) 自動追尾TSと施工管理ツールを活用した生産性向上と品質確保について
【(株) 亀太 代表取締役副社長 橋本 尚史】
 - 3) 施工者ができるUAV・LS計測支援状況と後付けマシンガイダンスシステムについて
【(株) シーティーエス i-Construction推進部 課長 酒井 満】
 - 4) IoTによる重機土工の「全工程見える化」について
【(株) フジタ 名古屋支店 土木技術積算部長 瀧 宏史】
 - 5) 九州北部豪雨におけるUAVを活用した流木調査について
【国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 駒ヶ根出張所長 田島 健】



セミナーには多数の聴講者が参加



発表の様子



自動追尾型トランシットの実演



左：山本名古屋工業大学名誉教授
右：鈴木名城大学名誉教授

～コメンテーターからの講評～

【山本名誉教授】
○皆さんが、色々な方面で建設ICTに取り組んでおられるということが良くわかりました。
○大学関係者としては、建設ICTにより学生の建設業に対する見方が変わってくるのかなと感じた。

【鈴木名誉教授】
○これからは新技術も含め、このような活動が非常に重要ですので多めに研究を進めていただきたい。